

「佐渡・越後の文化交流史研究」

研究代表者 原 直 史

プロジェクトの概要：

佐渡および越後地域をめぐる文化交流について、歴史、考古、地理、民俗、社会思想史、文学等の各分野から、現地調査を加味しつつ、研究資料・研究文献を広く調査蒐集し、日本列島における東西文化交流と定着について総合的、実証的研究をすすめる。具体的には両地域を中心とした地域の古文書や文学資料、古地図、遺跡発掘データの収集と検討、民俗学的事例研究などを通して当該地域の文化交流について考察する。数回の研究会、研究報告書刊行等を行っている。

プロジェクト参加者：

芳井研一 矢田俊文 池田哲夫 橋本博文 鈴木孝庸 飯島康夫 原直史 堀健彦 中林隆之 齋藤瑞穂 荻美津夫 白石典之（協力者・超域研究機構）

2012年度の活動：

1. 研究雑誌の発行

『佐渡・越後文化交流史研究』第13号（2013.3）

池田哲夫「漁業研究者と漁村と実態調査—内橋潔と漁村調査 日本海区水産研究所所長時代」

鈴木孝庸「新出『久知軍記』について」

荻美津夫「「大々御神楽式略次第」翻刻」